Exif(イグジフ)とGPS機能を搭載したデジタルカメラ

Exif(イグジフ)とは、デジタルカメラで撮影した画像データの中に埋め込むデータフォーマット。

Exifの特長の1つは、画像ファイルの中に撮影時のカメラ情報を記述している点です。 たとえば、撮影された日時や機種名、シャッタースピード、絞り値の設定といった撮影に 関する情報と、主画像のデータを正しく読み取るための 圧縮モード、色空間、画素数など の情報を記述しています。

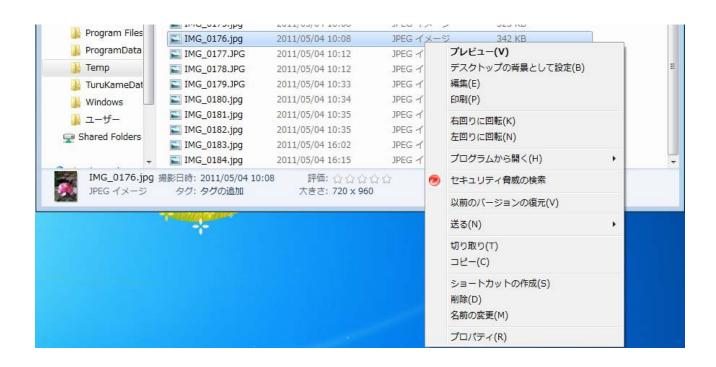
画像ファイルに格納されているデータは撮影日時の他に F値、ISO、シャッタースピード、ホワイトバランス、被写体までの距離といった撮影データの他、GPS機能を搭載しているモデルでは緯度経度などを記録することもできる。

デジタルカメラにもGPS搭載する機種が増えてきているようです。GPSというと、カーナビゲーションシステムでもおなじみだと思います。スマートフォンにもGPS搭載機能されていています。写真撮影した際に緯度・経度といった位置情報が記録されます。デジカメで撮影した写真に位置情報が加わりオンライン上のmapサービスと組み合わせることで、今までにない写真管理、オンラインアルバム作成の可能性がでてきました。

Exif情報は、画像ファイルに埋め込まれているので、ファイルをダブルクリックしてファイルを開いても表示されません。EXIF情報を見るには、ファイルを右クリックして表示されるメニューの下にある[プロパティー]から操作します。

Windows 7と Windows XP での操作方法を記します。

Windows 7の場合 ファイルを右クリックして表示されるメニューの下にある「プロパティー」を選択します。

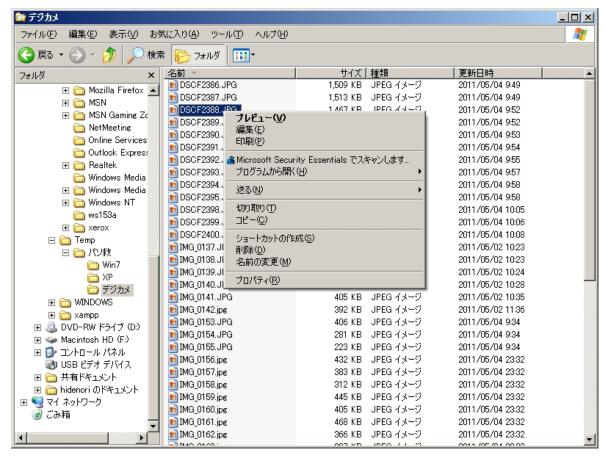


次に、詳細タブをクリックするとExif情報が表示されます。



Windows XPの場合

ファイルを右クリックして表示されるメニューの下にある[プロパティー]を選択します。

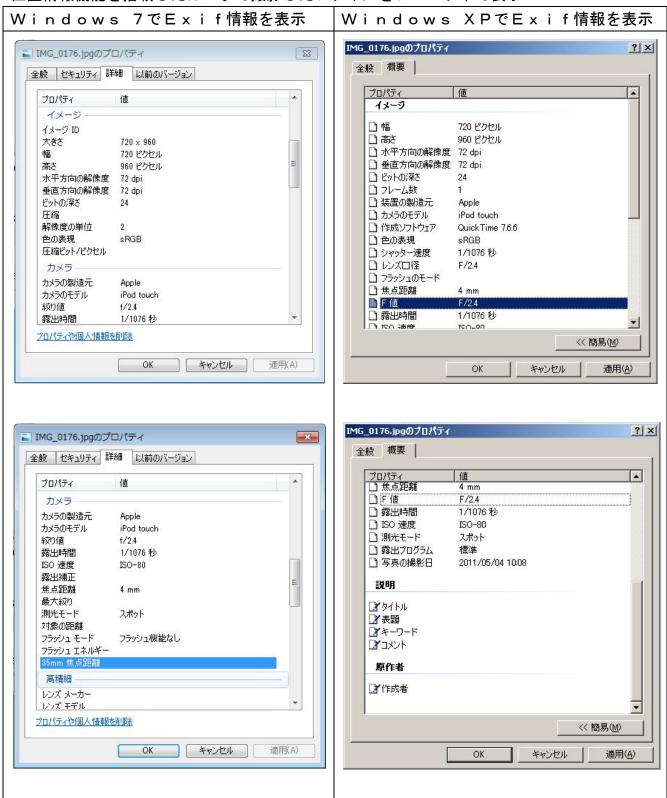


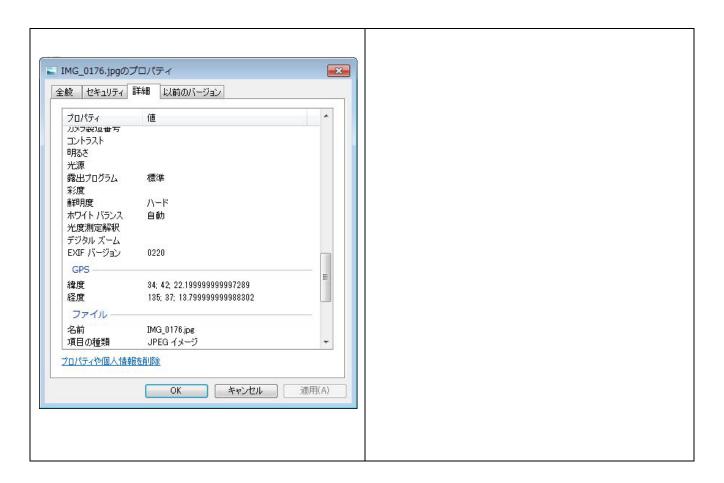
次に概要タブの詳細設定ボタンを選択します。





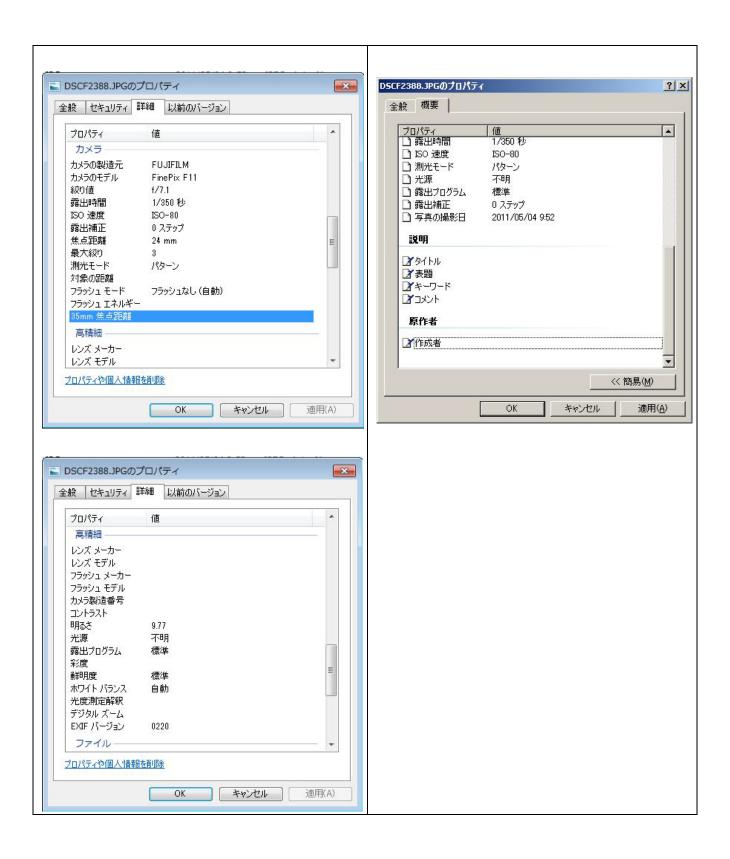
位置情報機能を搭載したカメラで撮影したファイルをプロパティで表示





デジカメで撮影したファイルをプロパティで表示





Exif情報編集ソフトにてExif情報を表示 私が使用しているソフト「F6 Exif」を使用して表示。



メニューバーの[ツール]-[EXIF-覧表示/編集(E)]を選択します。

